

# 令和8年度 八王子市立上柚木小学校 学校経営計画(概要版)

★保護者・地域の理解と協力と信頼のもとに、創意工夫された教育活動で、子供たち一人一人の良さを生かし『生きる力』を育てる

★地域運営学校として「地域の子供は、地域で育てる」を推進する

## 一 目指す子供像一

### 学校教育目標

- 明るくがんばる子 (体) →心身ともに健康で、遊びや運動に親しむ子 と解釈
- ◎仲よく協力する子 (徳) →自他を価値ある存在として尊重する子 と解釈
- よく考える子 (知) →自ら考え判断し行動できる子 と解釈



### 【確かな学力】

**自分で考え、選び(判断)、決める(決断)、伝える(自分言葉で)子供(知)**

- できる・分かる・楽しい、が実感できる (INPUT/OUTPUT: 学びや知識の活用)
- ①主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善をする
  - ・子供が主語になる学習活動を行う (自分事にとらえる)
  - ・問いを引き出す、交流の工夫をする (伝える、発表する場面の設定と機会の重視)
  - ・自分で考える、選べる (判断)、決められる (決断)、伝える (自分の言葉で)
- ②学習用端末を日常的に活用する (学習や個に応じた効果的な・協働的な学びの活用)
- ③上柚木小学校のレガシーを継続する (学習の成果を表現する・発表する・伝える)
  - ・運動会(体育)、「音楽」「図工」発表会(音楽・図工)、学校公開(授業公開)
- ④取り残さない: 市学力調査の結果とドリルパークの活用
  - はちおうじっ子ミニマムを6年生全員ができるようにする
- ⑤基礎的基本的な事項、学力を定着する (読み・書き・計算、学習用端末の活用)
  - 豊かな言葉を育成する (詩の暗唱、読書活動の充実: 読書週間・POP コンテスト参加)
- ⑥家庭と連携し、家庭での学習の自立を習慣化する (「読み・書き・計算」「宿題」)
- ⑦小中グループ9年間のキャリア教育を推進する

### 【豊かな心】

**人と良好な関りができる豊かな心をもった子供(徳)**

- 自分も人も大切する豊かな心を育む (まずは、自分を大切に)
- ①自他ともに価値ある存在として尊重する態度を育成する
  - (受容する・違い(多様性)を認める気持ちをもつ)
- ②自己肯定感・自己有用感 (大切にされる実感・価値のある存在と思う実感)を育成する
- ③コミュニケーション能力を育成し、高める (聞く力・話す力・伝え合う力をつける)
- ④社会人となる基礎を育成する (あいさつ・言葉遣い・礼儀・規範意識・自律律)
  - 「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える子供たちを育成する
- 人権教育と道徳教育の充実、たてわり班活動、ゆずっこフェスティバル
- いいところ応援計画、上柚木進化プロジェクト、小中合同の取組
- ⑤学校が「安心できる自分の居場所」と感じられる場所にする。
  - いじめを許さない・重大ないじめに発展させない風土を醸成する
  - 不登校・登校渋りの児童を取り残さない。社会とつなげる。



### 【健やかな体】

**なりたい自分になるために、めあてに向かって、諦めずに続ける子供(体)**

- 心身ともに健康で、遊びや運動に親しみ、『なりたい自分になるために』めあてに向かって、諦めずに続ける気持ちを育む
- ①学校行事等、特別活動を通じてキャリアパスポートを効果的に活用する実践を積み重ねる
- ②校内研究 (健やかな心と体を育む体育健康教育の実践を通して、豊かな心を育成する)
  - ・基礎的な体力を育成し、高める (体育の授業・休み時間や朝、放課後の遊び)
  - ・運動や体を動かすことへの関心や興味を高める
  - 「たのしい」「わくわく」「諦めない」「続ける」「すすんで」
  - ・体育、保健の授業を充実する (授業改善と指導力の向上)
  - ・仲間との良好な関わり方を身に付けさせる (聞く・話す・伝え合う・認め合う)
- ③遊びや体育、健康な生活の『環境』を整え、取り組みを自分事として捉えさせる
  - ・遊びを充実する (休み時間と朝遊び・放課後遊び (ゆずっこひろばとの連携))
  - ・特別活動や体育的行事を充実する
  - ・食の習慣づくり (給食指導「もったいない (SDGs)」の取組、おはし名人 等)
  - ・生活習慣づくり (生活リズム表 (長期休業明け)、ノーメディアチャレンジ 等)

## 一 目指す学校像一

### 学校に関わる全ての人がウェルビーイングを実感できる学校

『自己決定・自己実現できる力』を育てる学校=『生きる力』(①伝える力(気持ち・考えを言葉で)と相手を受け入れる力 ②選ぶ・判断する力 ③決める力(決断する))を育てる

#### 子供『学校が楽しくて通いたい』と思う学校

- ・学びや生活の中で、できる、分かる、楽しいが実感できる
- ・自分も人も大切に、互いに思いやり、優しさを感じる
- ・大切にされている、役に立っている実感がある (自己有用感)
- ・子供たちと共に遊び、子供たちの声に目と耳を傾ける教師 (相談できる大人) がいる

#### 保護者『子供を通わせたい』と思う学校

- ・子供たちのために、子供たちと共に、が感じられる
- ・安全対策が十分であり、安心して学び、遊べる
- ・基礎学力、規範意識を定着させる
- ・いじめ、不登校に、真摯に・誠実に向き合い、子供と保護者に寄り添って対応する
- ・保護者の要望には可能な限り応えられる

#### 地域『学校に関わりたい』と思う学校

- ・気持ちよく挨拶できる、子供・保護者・教職員がいる
- ・感謝と敬意の気持ちをもつ、子供・保護者・教職員がいる
- ・関わったことが自分の喜びに感じる、子供・保護者・教職員がいる

#### 教職員『上柚木小に勤めたい』と思う学校

- ・自分の居場所、楽しみながら学校を作る実感がある
- ・子供たちの成長、伸長に喜びを感じられる
- ・互いに尊敬、協力、信頼し合い、組織の一員として責任をもって気持ちよく職務の遂行できる
- ・教師自身も自らの成長を実感できる

## 一 学校経営方針一

上柚木小学校の合言葉 **あいさつ・やまい・が おもいやり わたしの学校「上柚木小学校」**

~魅力ある上柚木小学校づくり『自分の居場所と仲間との絆』が感じられる学校の推進~

(わたし=『子供・保護者・地域・教職員』が楽しみながら学校づくりに参加)



### 安心・安全な学習環境の整備

- いじめ防止対策の徹底
  - (未然防止、早期発見・早期対応に努め、重大ないじめに発展させない)
  - ・些細なトラブルでも「いじめられた」「嫌な思いをした」と感じたら、全て『いじめ』と捉えて対応する→いじめは特別なことじゃない『いじめはあって当たり前』
  - ・児童(被害・加害)、保護者に寄り添った対応をする
- より良い関係を構築する
  - 双方から聞き取った事実、気持ち、互いに理解し合って「いけなかったこと」を認め、謝ること、わざとではなくても「相手がそう感じたら」それはそれで「ごめんなさい」「ごめんなさい」と言われたら、それを「許すこと」が大事(積み重ねによる相互理解の深化と良好な関係の構築になる)
  - ・金曜日6校時 週1回のいじめ対策委員会の開催 (いじめに向き合う時間)
  - ・いじめの把握と認知、法に則った適切な対応、保護者との連携 (毎月の生活アンケート、ふれあい月間6月・11月(2月)のいじめアンケートの実施)
  - ・月曜日6校時枠は「子供に向き合う時間」 学習支援と指導・相談・教材研究 等
- 人権・道徳教育を充実する (自他を価値ある大切な存在として尊重する心を育む)
- 落ち着いた学習環境と生活環境を整備する
  - 特別支援・登校支援コーディネーターの活用と校内の共通理解・情報共有
  - 特別支援(個別支援)、不登校、登校渋りの児童への支援体制を充実する
  - 生活指導・教育相談の充実、校内委員会: 教職員、SC、SSW、学校心理士等との連携
- 各種感染症予防・熱中症対策に留意する (子供たちの学びを止めない)
- 災害時等のマニュアル確認・安全点検、安全指導を徹底し、必要に応じて改善する (施設安全や環境整備については、事務職員、用務主事、市教委と連携する)

### 保護者・地域・関係機関との連携

- 保護者・地域へ積極的な情報発信をする (H&S、ホームページ 等)
- 地域の教育力を生かした教育活動を展開する
  - 学校運営協議会、ゆずっこひろば(放課後子ども教室)、かみゆぎ小スマイルサポーター、青少年対策委員会との連携
- 小中一貫教育を推進し一層充実させる
  - ・上柚木中学校グループ(上柚木小、上柚木中、愛宕小)が一体となった取り組みを行う(キャリア教育の推進 等)
  - ・小中グループの義務教育9年間で育てる力の出口 『自己決定・自己実現』を目指す
- 保幼小連携を推進する(近隣保育園・幼稚園)
  - ・八王子市幼保小の架け橋期のカリキュラムで連携
  - ・園児と児童の直接交流(1年生、5年生)
  - ・「保幼小連携の日」の教員交流
- 特別な支援や配慮が必要な児童や家庭と関係機関をつなぐ (SC、SSW、医療機関 等)
- 月1回の校内委員会を実施する
- 特別支援・登校支援コーディネーターを活用する



### 組織的な学校運営、責任ある分掌運営

- 各職層(主幹教諭、主任教諭、教諭)の実践課題を明確にし、適切に職務を執行する
- 各分掌の担当が計画的に進行できる運営体制
- 組織的な研究・研修を行い、授業力および生活指導力の向上に努める
- 服務事故防止(日常的な指導と情報提供、服務事故防止研修、体罰チェックリスト、ガイドラインガイドライン「使命を全うする」等の活用)
- 教職員の働き方改革、ライフワークバランスの推進
  - 男女共同参画に基づく、男女ともに働きやすい職場

### 目指す教師像

- ◇子供たちのために、熱意をもって行動できる教師
- ◇一人一人の良さを生かし、個の特性に応じたきめ細かい指導ができる教師
- ◇常に研修に励み、指導力の向上を目指す教師
- ◇子供・保護者・地域・教職員から信頼される教師 (感謝の気持ち・素直な心・謙虚な姿勢・誠実さ)
- ◇教育課題の解決に向け、組織的な学校運営に参画する教師
- ◇教育公務員として全体の奉仕者であることを自覚し行動する教師 (社会の常識やマナー・服務事故「0」を目指す)



### 保護者・地域にお願いしたいこと

- 大人のよい姿を見せる
  - 挨拶、マナー、エチケット、ボランティア活動等
- 地域の子供は、地域で育てる
  - 【家庭の役割】
  - ◎心の安らぎの場
  - ◎社会生活・基本的な生活習慣の指導 (挨拶、言葉遣い、礼儀、マナー、善悪の判断)
  - ◎家庭での学習(学びの自立に向けた習慣を指導)
  - 【地域の役割】
  - ◎気にかけて 声をかけて 目をかけて